



主題名 高齢者に学ぶ

教材名 年輪

人権学習の視点 個別的な視点「高齢者の人権問題」

主題・教材について 高齢者の人権にかかわる問題としては、高齢者に対する身体的・精神的な虐待のほか、社会参加の困難性などが指摘されている。高齢者が社会を構成する重要な一員であることを認識し、その知恵や豊かな体験を十分に活用できる環境を作り、人権を尊重して共に生きていく社会を創っていくことが求められている。核家族化が進み、高齢者とふれあう機会が少なくなるなか、生徒に高齢者に対する尊敬や感謝の心を育て、高齢者の人権についての正しい理解と認識の基礎を培いたい。

ねらい 高齢者に対する尊敬や感謝の気持ちを持ち、進んでかかわろうとする心情を養うとともに、高齢者の人権についての正しい理解のもと目指すべき社会の在り方を考える。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	<b>「高齢者」という言葉から何を連想しますか</b>				
	○身近な高齢者を思い起こし、自分がどのようなイメージを持っているか考えさせる。	一斉	○高齢者のイメージを発表し合う。	○プラスとマイナスの両面から様々なイメージを考えさせる。	
展	<b>人が年を重ねることの意味を考えよう</b>				
	○資料「年輪」を読み、おじいさんの言葉で印象に残ったこと、その理由を考えさせ、人が年を重ねることの重みに気付かせる。	グループ 一斉 個人	○おじいさんの言葉で印象に残ったこと、その理由を考え、発表する。	○「人にも年輪があるんだ…その人の人生に刻まれている」「この山にある木は…足りない部分を補い合い一つの森を作っている」など、高齢者の人生の重みについて感じ取らせる。	資料集「年輪」 ワークシート 項目①
開	<b>高齢者の人権について考えよう</b>				
	○高齢者のための国連原則（5つの原則）を理解させ、高齢者の人権について考えさせる。		○自立、参加、ケア、自己実現、尊厳の具体的な内容を知り、高齢者の人権について考える。	○高齢者に対する画一的なマイナスイメージ（悲観的・同情的）を変える。 ○手引きの5原則詳細及び写真の説明も利用して、具体的にイメージさせる。 ○家族、社会にとって必要な存在であることやいろいろな世代が交流する場の必要性を感じさせる。	資料集 P.60. 61 手引き P.60. 61
まとめ	○自分たちがこれから生きていく社会がどうあるべきか、自分にできることは何なのかについて考えさせる。	個人	○家族、社会にとって必要な存在であることやいろいろな世代が交流する場の必要性を理解する。	○様々な世代が共生していく社会の素晴らしさに気付かせる。	ワークシート 項目②

評価

高齢者に対する尊敬や感謝の心情を養うとともに、高齢者の人権についての正しい理解と認識の基礎を培い、高齢者の人権が守られる社会の在り方について考えることができたか。